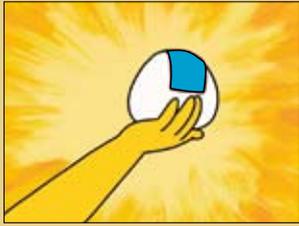


第4部

みんなのココロにやわらかココロ味 (環境にやさしい行動の実践例紹介)



おきゃくさんに食べられたおでんくんは、おきゃくさんのココロと出会いました。「こんにちは、ぼくはおでんくんです」。おでんくんは、ココロに話かけました。ココロは「わたし最近、ギスギスしているの」といいました。おでんくんが、きんちゃく頭をぐいぐい押すとなかからおにぎしがひとつでてきました。「これはやわらかココロ味だよ、これをたびる(食べる)と、やさしいきもちになれるよ」

みんなのココロも、やわらかココロ味のおにぎし、もらえましたか？

まず、ココロをやさしくしましょう。

未来のこと、身近な生きものたちのこと、やさしい気持ちで見ると、きっと環境にやさしい行動ができるようになります。

家で

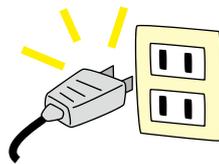
食べ物を残しません。食べた後の食器を洗うときは、水をふき取ったり生ごみを流さないようにします。



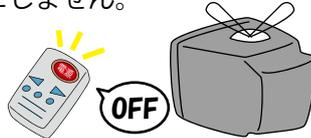
お風呂の残り湯は洗濯に使ったり、庭木にやったりします。シャンプーをしたり、体を洗っている間は、お湯を流しっぱなしにしません。



パソコンやビデオ、テレビなどは使っていないときは、主電源を切ったり、コンセントからプラグを抜きます。



だれもいない部屋の電灯や、だれも見っていないテレビは消します。テレビは見たい番組だけを見るようにして、つけっぱなしにしません。



カン、びん、ペットボトル、牛乳パック、トレイなどは、リサイクルするために洗って分別します。



冷暖房をつけるときは、カーテンの使い方や着る物を工夫して、夏は28℃、冬は20℃を目安に温度を設定します。



ポイント 地方環境パートナーシップオフィス

環境を守ったり、良くしようと活動している市民やNPOなどの協力関係(パートナーシップ)の強化を促進を図るため、東京・青山に「地球環境パートナーシッププラザ」を開設しています。意見交換会・勉強会などとおして環境パートナーシップに関する情報の発信などを行っています。

また、このような取組を全国に広げるため、地域のパートナーシップ拠点として、地方環境パートナーシップオフィスを全国に設置して、ネットワーク化を推進しています。(18年度は四国、九州に設置予定。)





学校で

手を洗うときは、水をムダに使いません。



だれもいない教室の電気は消します。

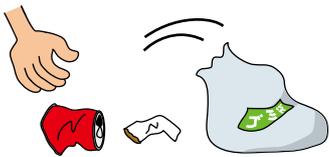


学校、図書室、家で、本やビデオ、インターネットなどを通して環境に関する勉強をします。



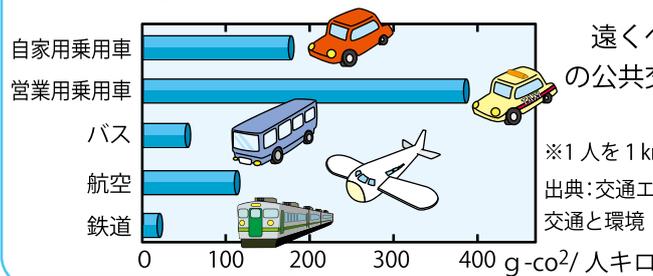
まちで

地域の清掃活動など、環境ボランティア活動に参加し、行動します。



出かけるとき

●交通機関別の二酸化炭素の排出量 (2004年度)



遠くへの移動はバスや電車などの公共交通機関を利用しましょう。

※1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素の量
出典：交通エコロジー・モビリティ財団「運輸・交通と環境 (2006年版)」

きみのエコスタイル度は！！



第2部でゲットした

最高69ポイント 合計 ポイント

第3部でゲットした

最高30ポイント 合計 ポイント

+ 1ポイント
神さまからのごほうび

トータルで最高100ポイント
 ポイント
ゲットだね！

80ポイント以上：きみの環境にやさしい気持ちは、まさに「やわらかココロ味」だね。これからも環境にやさしい行動をつづけるんじやよ。

40 ~ **79**ポイント：がんばっているね、環境にやさしい気持ちで、環境行動をステップアップするんじや。

39ポイント以下：環境にやさしい気持ち、きみのなかで芽生えているよ、その気持ちもっと育てていくんじやよ。

